

## 活動報告

東日本大震災から10年。ユネスコ協会就学支援奨学金は、被災した子どもたちに3年間の給付型奨学金を支援する事業です。コロナ禍で不安な学校生活の中でも、奨学金を活用して、それぞれの目標に向かって前進しています。引き続き、温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



### ユネスコ協会就学支援奨学金とは

子どもたちが被災による経済的な理由で夢や進学をあきらめることなく、安心して学校に通えるよう、奨学金の支援を行っています。

### 誰のために使われるの？

地震や津波による家屋の流失・損壊や原発事故による避難などの理由により、経済状況が悪化した世帯の中学3年生を対象に奨学金を給付します。（震災による遺児孤児を除く）

### どの地域に使われるの？

岩手県、宮城県、福島県の3県で被害の大きかった市町村を特定して実施しています。

### 奨学生はどんな支援を受けられるの？

奨学生 1人あたり月額2万円を3年間給付します。給付型（返還不要）の奨学金です。

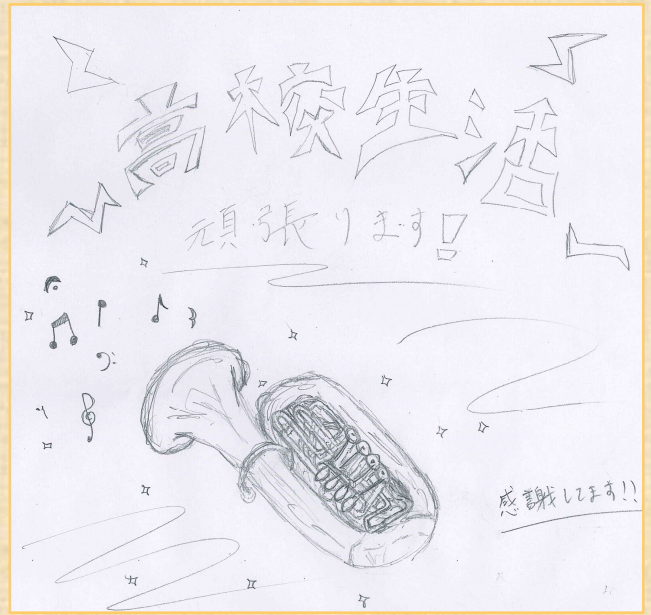
※奨学金は、日本ユネスコ協会連盟から奨学生一人ひとりのご家庭に直接支援しています。

奨学生から、高校進学喜びのお手紙が届きました。

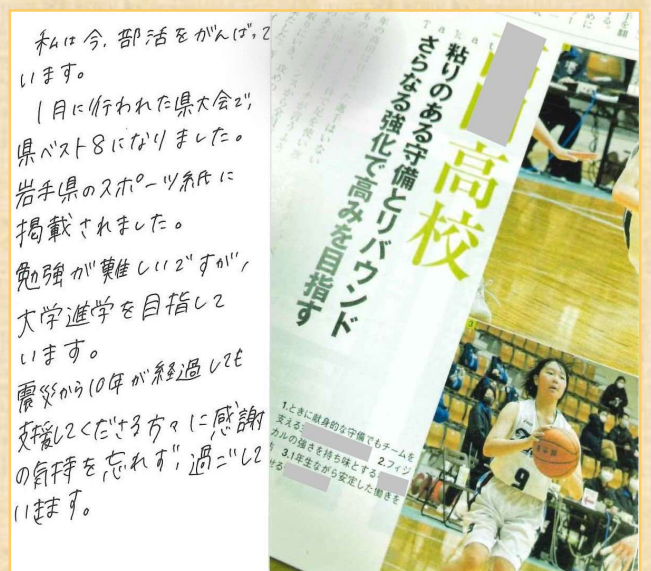
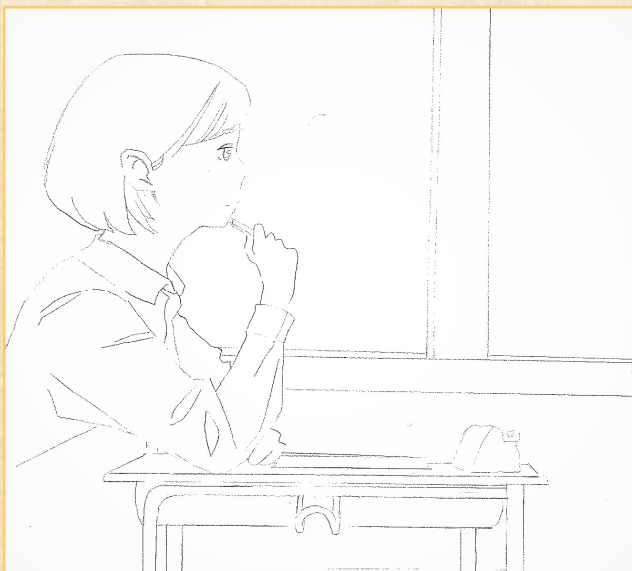


ぜひ裏面もご欄ください。

奨学生からお手紙が届きました。



奨学金のご支援いただきありがとうございます。いただいた奨学金は、制服や学用品の購入に充てたいと思っています。高校生活は悔いが残らないように勉強に部活動に一生懸命取り組み、社会に出たとき、今までお世話になった方々に恩返ししたいと思っています。



私は今、部活をかんがえています。  
1月に行われた県大会2、県ベスト8になりました。岩手県のスポーツ紙に掲載されました。勉強が難しいですが、大学進学を目指しています。震災から10年が経過して支援してくださる方に感謝の気持を忘れず、頑張ります。

# 東日本大震災 子ども支援募金「ユネスコ協会就学支援奨学金」

3年間の受給が完了した奨学生からお手紙が届きました。

3年間にわたるご支援本当にありがとうございます。無事に高校生活最後の一年を迎え、現在は中役所職員を目指して勉強をしています。

震災の際、自分自身の不安もありながらも、市民のために全力で働き、安心できる環境を整えたり、現在も、コロナ禍で様々な対応が必要となり、前例がほとんどないという状況でも全力で業務にあたり続けている姿が自分の目標となりました。

ご支援のおかげで過ごすことができたこの3年間で得たこと、震災を経験し得たこと、コロナ禍で生活しているうえで得たことを生かし、目標達成のために努力します。たくさん人の役に立ちたい人間となり、必ず恩返しをしたいと思います。

ご支援いただき、本当にありがとうございます。

3年間にわたって支援して頂きありがとうございました。奨学金を使って参考書など学用品の購入や検定の受購に充てることができました。奨学金のおかげで自分のスキルアップに繋げることができました。今年度は高校3年生に進級するので、卒業後就職できるように学業と平行しながら社会活動も引き続き頑張りたいです。

震災当時私は小学一年生でした。半年近く避難所で過ごし、その後仮設住宅、復興住宅そして今の住居に引越しました。せっかく友達が出来ても何回も転校しなければならなかったのが辛かったです。同じ県内でも震災の影響が比較的少なかった地域に引越したときは温度差がかなり大変な一面もありました。しかし、全国から沢山の支援や励まし言葉を頂いたことで前向きに生きることが出来ました。残り年間充実した高校生活を送れるように頑張ります。このたびは奨学金を寄付してくださいました皆様、日本ユネスコ協会連盟の皆様温かいご支援を本当にありがとうございました。

3年間、奨学金の給付をしていただき、ありがとうございます。お陰様で今は充実した学校生活を送ることができています。学校では授業や部活動の他に、資格の取得を目指していて、それに向けた勉強や練習をしています。今度「工事担任者 総合種」という資格を取得をしたくて、それに向けた勉強を頑張っています。将来は、資格を生かして、社会に貢献できるような人になりたいと考えています。そのために今できることは周りの人に感謝しながら、精一杯頑張りたいです。

そして今年で震災から10年の月日が経過しましたが、あの日のことは今でもよく覚えていて、忘れることができません。あの時のことをいつまでも忘れず、あの日、ぶじに避難できたことを、犠牲になってしまった人たちのことも思いながら毎日しっかり生きていきたいです。たくさんのご支援、本当にありがとうございます。

3年間、奨学金を給付していただきありがとうございます。私のことをサポートしてくれている人がいるということが、とても大きな支えとなり、今までできなかったことができるようになりました。そして新年度から私も高校3年生になります。部活も勉強も、いよいよ大詰めになります。

部活動では、去年の新人戦で優勝することができました。今年5月には、最後の大会があります。新人戦では、個人戦で優勝できたので、あと力をつけて、今度は、個人、団体、ダブルスの3種目すべてで優勝します！

勉強では、自分の進路を実現するために、私の高校では勉強しない分野も勉強しようと思います。資格試験勉強も、将来、苦労しないために、今から頑張ります。そして、この奨学金の募金者の皆さんが私をサポートしていただいたように、今度は、私が、災害などで困っている人をサポートしたいと思います。

3年間本当にありがとうございました。これから、日々、精進して参ります。

日々精進！

3年間にわたり、支援をしてくださり、ありがとうございます。皆さんの支えもあり、今年の春で私は高校3年生になることができます。

私は現在、勉強に、部活に、地域の活動に、毎日充実した日々を過ごしています。1年後には大学受験も控えているので、必死に勉強しています。私は中学生の時から地元のみちづくりや地方創生に興味があったので、将来地元に戻って、町のために働きたいと思っています。また、5月下旬には、高校総体が行われる予定なので、後輩と切磋琢磨し、部活動にも励んでいます。

このように、震災から10年が経ち私が日々楽しく過ごすことができるのも多くの方からの支援があるからです。本当にありがとうございます。

3年間の奨学金を戴いた募金者の方々にお礼を言います。「本当にありがとうございます。」

今年は高校生最後の年になります。

1年生の終わりにコロナウイルスで臨時休校になり

学校にも行けないままの日々が続いた事もありました。今年1年間は高校生活最後の年なので将来の夢が叶う様に目標に向かって努力して行こうと思います。

震災から10年が過ぎ自宅を失って1度転校して環境が変わり、大変な目に遭いましたが良い友達や良い人達に会うという良い事もありました。

まだまだコロナウイルスが終息せず、以前の生活に戻れない日々が続いていますが、募金者の皆さんも気を付けてお過ごし下さい。

# 東日本大震災 子ども支援募金「ユネスコ協会就学支援奨学金」

保護者の方々からお手紙が届きました。

この3年間 息子の為に奨学金を戴き 募金者の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。東日本大震災が起きた10年前は自宅を失い、いろいろな物を無くして途方に暮れた事思い出します。住居が変わり息子を転校させないといけなくなり、転校が嫌だと言われて困った事もありました。実際転校してみるとたくさんの仲間や友達に恵まれとろ楽しく過ごしました。今は、以前住んでいた所の高台に家を建て、学校は少し遠くなりましたが元気に通っています。コロナウイルスで学校が休校になり、部活も思う様に出来なかったり、試合も無くなったり、市外の試合に参加する事を悩んだり、気を配る事が増える為により子供達が大変な様です。今年高校最後の年になり本人も目標に向かって頑張っている様なので喜んでいきたいと思っています。募金者の方々、お体に気をつけてお過ごし下さい。

2018年度より三年間にわたりご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。東日本大震災では、家屋を全壊し、家族を三人失うという被害を受け、経済的にも精神的にも非常に重苦しい生活を送ってまいりました。被災後は父親がなかなか定職に就けず、子ども達も相当地に悩みが多い時期を過ごしたと思います。しかしそのような中でも、貴協会より奨学生としてご認定をいただきましたことは、本当に心強く、常に支えていただいているという安心感が生活の大きな励みとなりました。近年多発する災害には心が痛みますが、いほ自分達かできることを精一杯なことで、私共にも何かの形で恩返しができること信じ毎日を生きております。本筆ながら、この度の支給に際しまして毎日丁寧な送金事務を執り行っていたいただいた協会事務局の皆様方に、深く感謝申し上げますと共に、募金者皆様方の今後益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。三年間 本当にありがとうございました。

3年間 私の子供のために支援して頂き、本当にありがとうございます。お陰様で、部活動や学用品など、不自由な思いをなさる事なく、高校生活を送っております。高校生活は、残り所一年となりますが、私の子供は就職の道も選んでおります。コロナ禍の中、就職を要する事も大変な事と思ひ、資格を取る事にも励みました。それも、これも、皆様の手助けがあったお陰様で心から感謝しております。一人では出来なかった事も多くあったと思ひます。これから、増々大変な時期になり、私の様に一人で大変な想いをしている方もいらっしゃる様で、皆様の様の方から、心救われる人もいらっしゃる事。今後私達の様な人のため、宜しくお願ひ致します。

2018年から、3年間給付受けられ助かりました。誠に、ありがとうございます。春から、高校3年生になり、本年度は就職に向け在学中に資格取り、学業にと、多忙は1年になりそうです。残念ながら、2年生に行けず(コロナ)に、1年学旅行もコロナウイルスの為に中止になり、本人も心残りと思ひます。そして、東日本大震災から10年の月日が経ちます。当時、小学1年生だった息子は3月11日が来る度、今も「切ない」「つらい」と言ひます。10年経つとは思ひ、私達大人でさえ、傷かいた事はありません。でも、前を向いて歩きたいと、今は日々の生活に感謝し、過ごしています。

3年間大変お世話になりました。この対奨奨学金のお陰でどれだけ助かった事が、言葉では言い表せない程大変感謝しております。コロナで色々な行事が中止になり、また、親の収入が減る等、金銭面でも大変な時にこの対奨奨学金は何度も言いますが、本当に助けてくれたか、何度もお礼を述べても足りないくらいです。本当に有り難うございます。皆様の御多幸をお祈りいたします。

度重なるご支援を頂き本当にありがとうございます。息子は今、将来の夢である警察官になれる為、日々、勉強部活を頑張っております。新型コロナウイルスで、修学旅行、体育祭、大会…多くの行事が中止延期になり、大変な世の中になりました。10年前、家を失い、学校も浸水、仲の良い友達も失い、あの頃1年生だった息子は、沢山の方々に助けられ、ここまで成長できました。震災、コロナウイルス…と大きな苦痛を糧に強く夢に向かい頑張ってきたと思ひます。今後とも見守っていたら「けろと幸いぞ」。